

## 紙づて

二〇〇二年七月、精神的に人生のどん底まで落ちたときに出会った一冊の本の話です。

その本は神田昌典氏の著書「非常識な成功法則」。本には「目標は紙に書けば実現する。ただし、実現したい目標を書く前に、やりたくないことを書きだそう。それにより本当にやりたいことがはっきりする。目標期限は二年先に設定しよう。数字目標は現在の十倍に」と書かれています。

この本を読んだ翌日の土曜の午後、早速、誰もいないオフィスで一人、コピー用紙に赤いペンで「やりたくないこと」を書いたのです。社員との関係性、クライアントとの

## 希望の光が見えた

お高生  
はし林

関係性、お金のこと…。人生のどん底だったため、すらすらと書くことができました。

さらに、別のコピー用紙に「二年後の自分」と書き記し、次のことを書きました。「下請けをやめる」「売り上げを十倍にする」。そのため「携帯電話用ホームページを誰でも簡単に作れるツールを作り、月額五万円でレンタルするサービスを作る」「携帯向けのゲームアプリを作る」「携帯ホームページで誰でも課金ができるようなクレジットカードでの課金システムを作る」。

詳細な計画まで書き上げると、外は夕方になっていました。目標の紙を書き上げたら、なぜか全てが実現できる気がして、心の闇が晴れ、まるで希望の光が見えたかのように思えました。

(エイチーム社長)